国立台湾大学工学院および電機資訊学院と本学工学研究科との学術交流ワークショップ（1st Bilateral Workshop on Research Exchange between National Taiwan University and Kobe University）の開催について

工学研究科副研究科長 教授 大村直人
（078-803-6199：ohmura@kobe-u.ac.jp）

概 要

国立台湾大学は、台湾随一の最高学府との位置づけがなされ、11 学院（学部及び研究科）・54 学系（学科）・96 研究所（専攻）・33 研究中心（研究所）を擁し、3 万人を越える学生が在籍しています。Times Higher Education の 2014-2015 年の世界大学ランキングでは、世界 155 位、アジア 17 位であり国際的にも評価が高い大学です。

平成 27 年 11 月に締結された国立台湾大学工学院および電機資訊学院と神戸大学大学院工学研究科との学術交流協定に基づき、両機関の研究交流の活性化を図るために、国立台湾大学から 7 名（化学工学、機械工学、電気電子工学、情報工学）の研究者を招へいし、2016 年 12 月 16 日～17 日に神戸大学百年記念館六甲ホールを会場として学術交流ワークショップを開催します。このワークショップでは、招へい研究者の講演のみならず、本学からも教員の研究紹介を行うとともに本学学生によるポスター発表も企画して、招へい研究者に本研究科の研究シーズを広く紹介することで、共同研究の可能性について議論するものです。

このワークショップでは、両大学の研究シーズを紹介しあい、国立台湾大学との国際共同研究を促進するために、開催場所を国立台湾大学とで交互に毎年開催を予定しているもので、今年が初めての開催となります。このような継続的な学術交流の企画は、これまであまり例がありません。

国立台湾大学は世界的に見ても学術レベルの高い大学であり、国立台湾大学との学術交流は高いレベルの国際共同研究と国際共著論文、本学学生の国立台湾大学への留学、国立台湾大学の学生の本学サマースクールへの参加や留学を促進し、本ワークショップは本学及び工学研究科の機能強化に資するものとして大いに期待されています。